CARMATE

5793-70929B

ストリームボックス 7##シリーズ 取扱説明書

はじめに

このたびは、カーメイト INNO ストリームボックスをお買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書にはストリームボックスの取付・使用方法が記載されています。

この取扱説明書をよく読んで理解してから本品を使用し、記載事項全てを必ず守ってください。
この取扱説明書は、必要なときにいつでも読めるよう、できる限り身近に大切に保管してください。

本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書も併せてお渡しください。
また、本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

目　次

はじめに…… 1
安全にお使いいただくために…… 2
本書に記載する記号について…… 2
必ず守ってください…… 2
部品内容を確認する…… 6
組立図…… 6
開閉方法…… 7
カバーを開ける…… 7
カバーを閉める…… 7
取付方法…… 8
ステー・バーを車両に取付ける…… 8
ルーフボックスの取付位置を決める…… 8
ルーフボックスを取付ける…… 9
ベルトを取付ける…… 10
ベルトフックを取付ける…… 10
ルーフボックス取付後の確認…… 10
使用方法…… 11
荷物を積載する…… 11
サポートブロックを使用する…… 12
走行する…… 13
日常のお手入れ…… 14
保管方法…… 15
純正補修パーツのご案内…… 16
お問合せ先…… 16

安全にお使いいただくために

本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次のとおりです。

⚠警告	警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。
⚠注意	注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。
参考	本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。

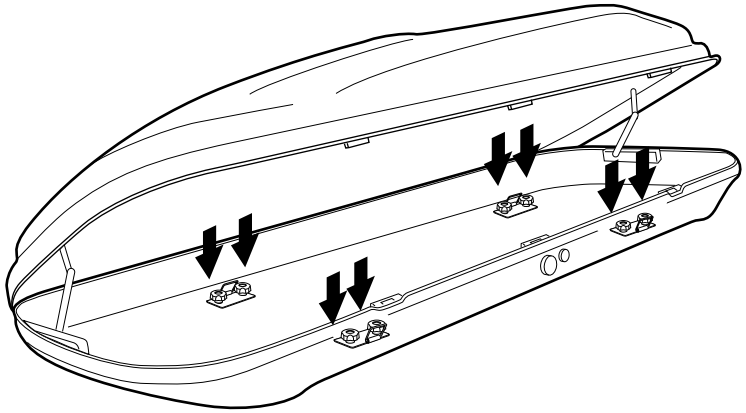
必ず守ってください

本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことがらを必ず守ってください。

⚠警告

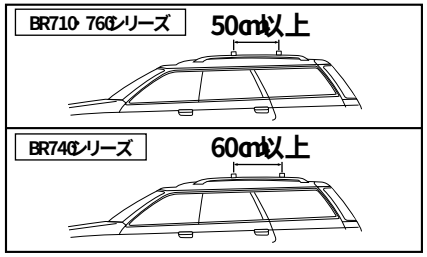
取付上および使用上の警告

走行前に必ず前後合わせて 8ヶ所のノブを点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。
ノブにユルミがあると、走行時の風圧・振動によりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



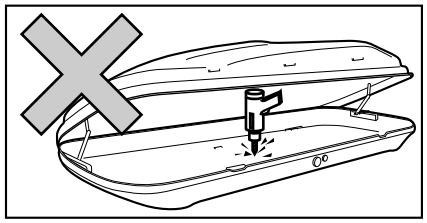
⚠ 警告

取付上の警告



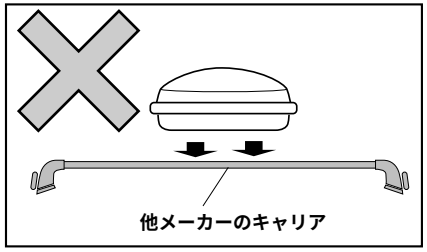
バーの前後間隔は、BR710・760シリーズは50cm以上、BR740シリーズは60cm以上とってください。

バーの前後間隔が狭い状態で取付けるとキャリアに無理な力がかかることによりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。
ルーフレール車などバーの前後間隔が調整できる場合は、なるべく長くとっていただいた方が走行中の安定性も増します。



ルーフボックスは改造しないでください。

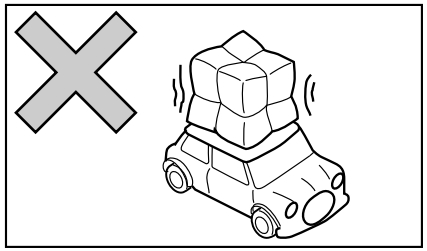
穴を開けるなどの改造を施すと、確実な固定ができず、ルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



他メーカーのキャリアへの取付けはしないでください。

他メーカーのキャリアへ取付けると、確実な固定ができず、ルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

使用上の警告



最大積載量50kgを超えた積載はしないでください。また、車種により最大積載量が異なる場合があります。車種別適合表で確認の上、最大積載量を算出し、50kgを超えない範囲で積載してください。

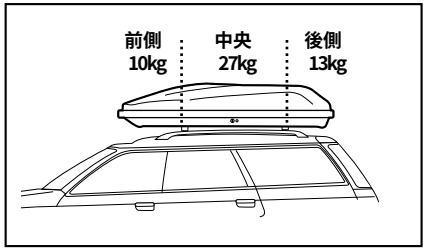
最大積載量を超えた積載をすると、車両やルーフボックスに無理な力がかかることにより、ルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

最大積載量の算出方法

最大積載量（50kgを超えない範囲） ＝ 車種別適合表記載の最大積載量 − (ルーフボックスの本体重量 ＋ 他のアタッチメントの重量 ＋ 他のアタッチメントに積載している積載物の重量)

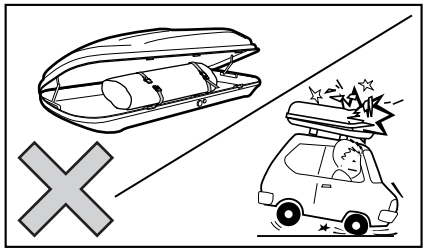
（他のアタッチメントと併用してお使いの方）

⚠ 警告



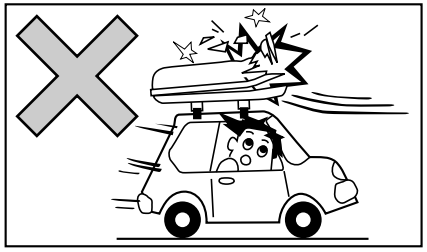
荷物を積載して走行する場合は、走行前に必ず荷物が平らで均等に積載してあるか確認してください。特に、前側には10kgを超える荷物は積載しないでください。

ルーフボックスの前側・後側だけなどに片寄って荷物を積載すると、ルーフボックスに無理な力がかかることによりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



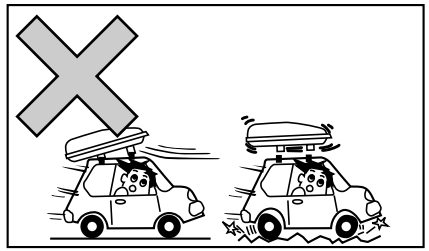
荷物を積載して走行する場合は、必ず荷物をベルトで固定してください。

荷物を固定しないで走行すると、急ブレーキなどで荷物が外に飛び出し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



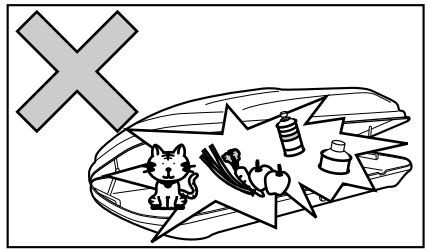
走行前に必ずルーフボックスのキーをロックし、カバーが確実に閉まっていることを確認してください。

カバーが確実に閉まっていない状態で走行すると、カバーが走行中に開き、荷物の脱落や、風圧によりルーフボックスが破損し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



法定速度を守り、強風時や悪路では、特に速度を落として走行してください。

法定速度を超えた連続高速走行や強風時の連続走行、悪路走行をすると、ノブのユルミによりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

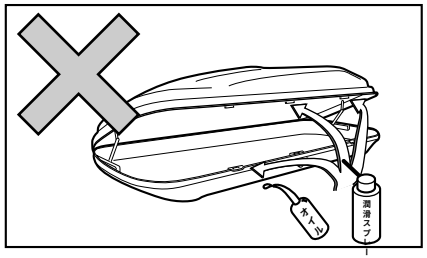


下記の物は積載しないでください。

1.高圧ガスを使用した各種スプレー缶
2.可燃性のあるガソリン、白灯油など
3.精密機器
4.生き物（ペットなど）
5.生もの（野菜など）

ルーフボックスは直射日光にあたることにより、内部が高温になります。上記の物を積載すると、爆発や火災、脱水症状による死亡などの重大な事故の原因となります。また、高温による損傷や変形、腐敗のおそれがあります。

⚠ 警告

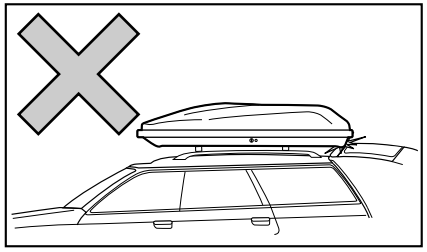


油・シンナー（塗料含む）など使用禁止

潤滑スプレー、油、グリス、シンナー、洗剤の種類によっては、ルーフボックスの素材が劣化し、ルーフボックスが破損・脱落するおそれがあります。カギ・ヒンジへの注油はやめてください。

⚠ 注意

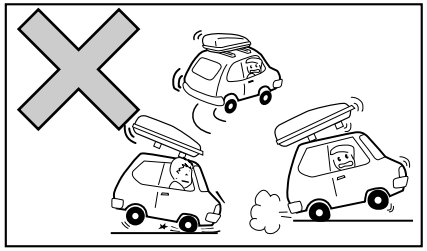
取付上の注意



リアゲート注意

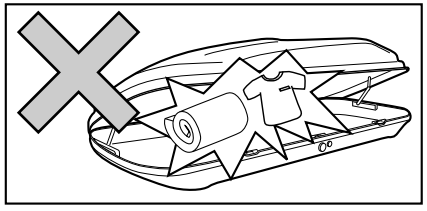
取付位置によってルーフボックスがリアゲート等に当たる場合があります。リアゲート開閉時にルーフボックスに当たると、ルーフボックスや車両が損傷するおそれがあります。万一当たる場合は、車両とルーフボックスの接触部にクッション材などを貼ってください。

使用上の注意



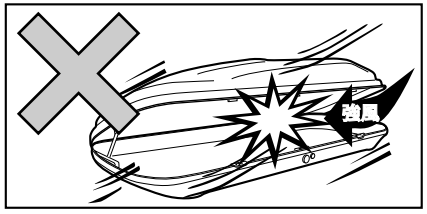
急発進、急ハンドル、急ブレーキ注意

急発進、急ハンドル、急ブレーキをすると、ルーフボックスの取付位置がずれて車両や製品が損傷するおそれがあります。また、やむを得ず無理な走行をした場合は、必ずキャリアとルーフボックスの取付状態を確認してください。



水濡れ注意

ルーフボックスは防水構造ではないので、強い雨などにより荷物が濡れるおそれがあります。濡れると困る物は別途防水対策を施すか、積載しないでください。

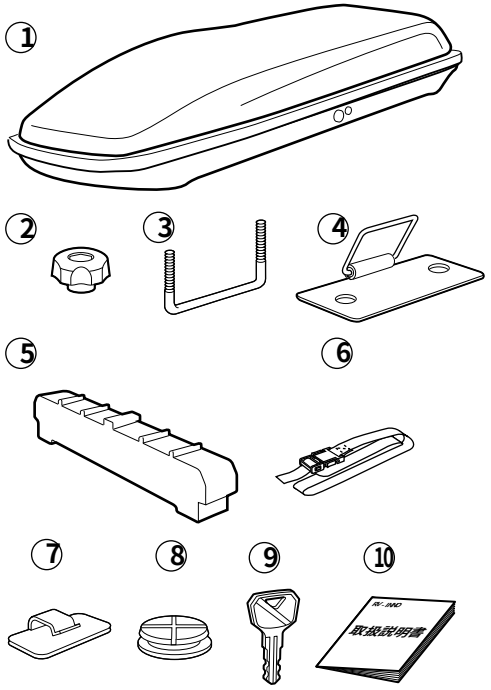


突風、台風時の使用注意

突風、強風時にルーフボックスの開閉を行うと、風圧によりルーフボックスが損傷したり、身体をはさまれて、ケガの原因になるおそれがあります。
また、台風時は脱落の恐れがあるため、取外して保管してください。

部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。
万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。



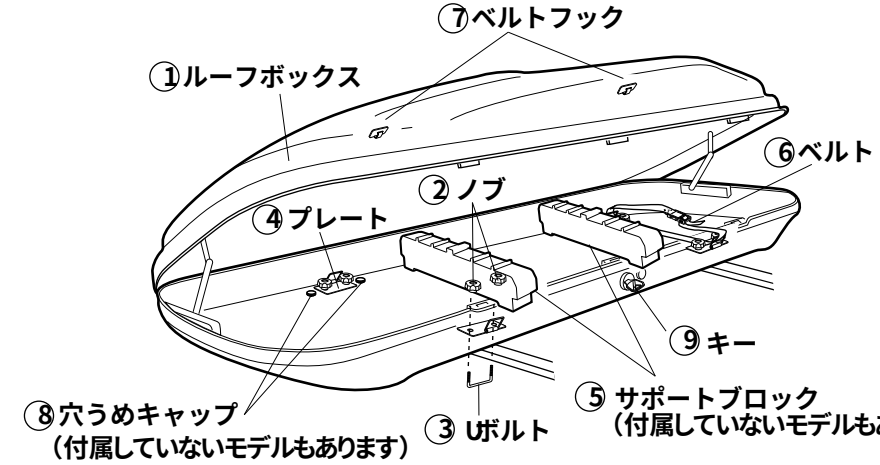
NO.	部品	数量
①	ルーフボックス本体	1
②	ノブ	8
③	Uボルト	4
④	プレート	4
⑤	サポートブロック	(2)※
⑥	ベルト	2
⑦	ベルトフック	2
⑧	穴うめキャップ	別記
⑨	キー	2
⑩	取扱説明書（本書）	1

※サポートブロックは付属していないモデルもあります。

【穴うめキャップ数量】

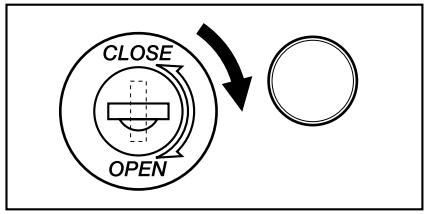
品番	数量	品番	数量
BR714	0		
BR744	0		
BR764	0		

組立図

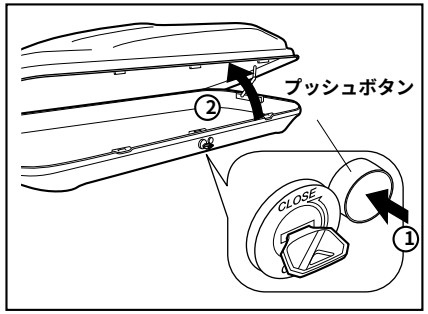


開閉方法

開閉 1 カバーを開ける



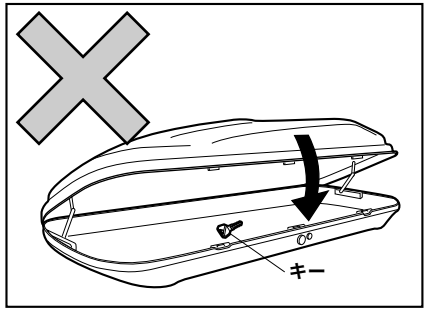
1 カギ穴にキーを差し込み、キーを "OPEN"の方向に回す。



2 ◯1 プッシュボタンを押しながら、◯2 ルーフボックスのカバーを持ち上げる。

参考

カバーが引っ掛かり、開けづらい場合は無理に開けようとはせず、一度カバーを閉めてから再度カバーが水平になるように持ち上げてください。



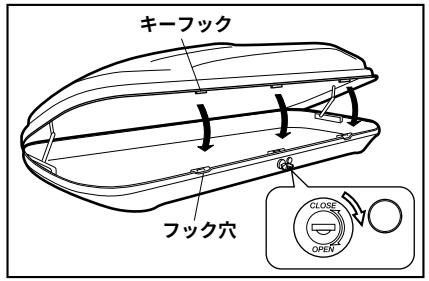
参考

本品はキーのかけ忘れ防止のため、カバーを開けている時（キーが〝OPEN〟にある時）はキーが抜けない構造になっています。

注意

キーをルーフボックスの中に置いておくと、キーを閉じ込めてしまうおそれがあります。
カバーを閉めるまでキーはキーシリンダーから抜かないようにしてください。

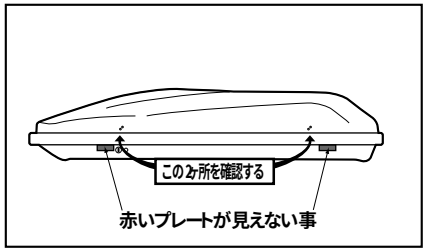
開閉 2 カバーを閉める



1 キーが "OPEN"の位置にあることを確認して、キーフックがフック穴に確実に入るように「カチャ」と音がするまでカバーを閉める。

注意

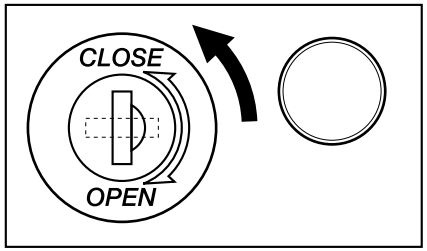
キーを抜いた状態や、キーが〝CLOSE〟の位置にある状態でカバーを閉めると故障の原因になります。



2 左図の 2ヶ所をゆすって、キーフックがフック穴に確実に入っているか確認する。

警告

前後の赤いプレートは、カバーが完全に閉まっているかを確認する安全プレートです。プレートが見えている場合は、荷物の入れすぎなどでカバーが閉まっていないので、プレートが完全にかくれるまでカバーをしっかり閉めてください。



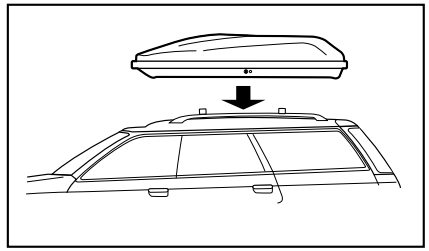
3 キーを "CLOSE"まで回してキーを抜く。

取付方法

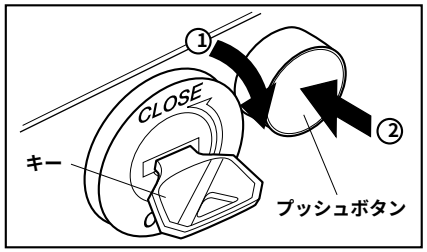
準備 1 ステー・バーを車両に取付ける

1 ステー、バーをベーシック・ステーセットの取扱説明書に従って正しく取付ける。

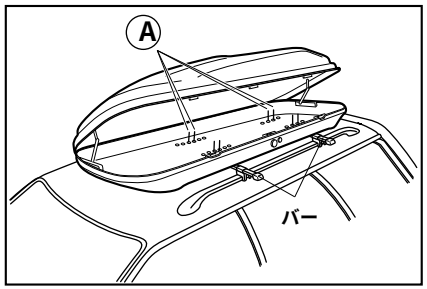
取付 1 ルーフボックスの取付位置を決める



1 ルーフボックスをバーの上に仮置きする。

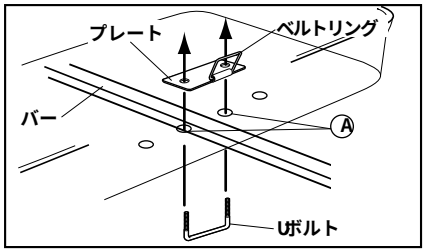


2 ①カギ穴にキーを差し込み、キーを"OPEN"の方向に回し、②プッシュボタンを押しながらカバーを開ける。



3 ルーフボックスを前後にずらしながら、ルーフボックスの取付用穴Aと前後のバーをあわせて取付位置を決める。

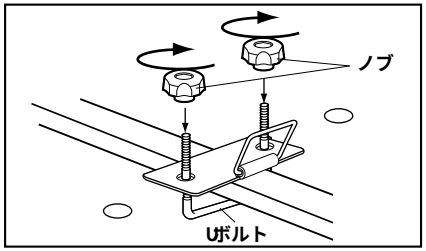
取付2 ルーフボックスを取付ける



1 ①プレートを、ベルトリングを外側にし、取付用穴Aに合わせて置く。
②Uボルトをバーの下からプレートの穴に通す。

参考

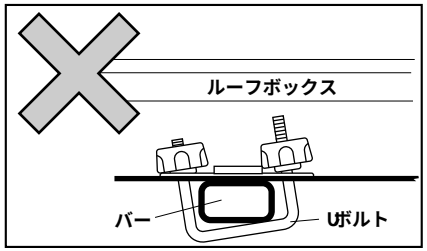
保護シールが貼ってある場合は先に上から穴を開けてください。



2 Uボルトにノブを左右交互に締め込み固定する。

参考

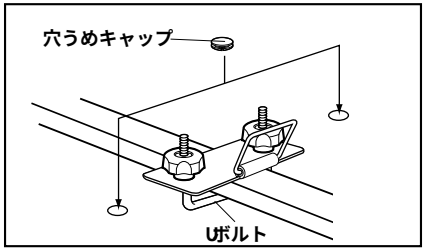
ベルトリングをノブで挟まないように締めてください。



警告

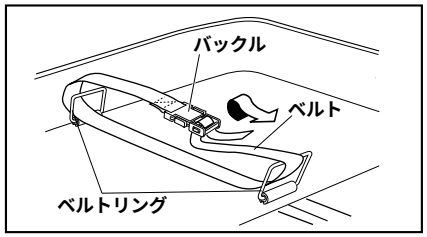
ノブは左右交互に締め込み、必ずUボルトがルーフボックスとほぼ平行になるように取付けてください。

Uボルトがルーフボックスと平行でないと、ユルミが発生し、ルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



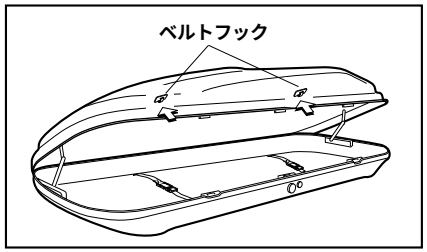
3 Uボルトを通さない全ての穴に、穴うめキャップを上側からしっかりと押し込める。
（穴うめキャップは付属していないモデルもあります。）

取付3 ベルトを取付ける



1 ベルトをベルトリングに通し、ベルトをバックルに通す。

取付4 ベルトフックを取付ける

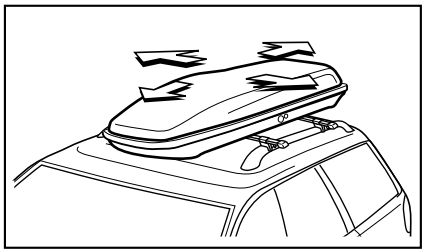


1 ベルトフックをベルトの上方、カバー内側のベルトの掛けやすい位置に貼り付ける。

参考

ベルトフックは貼付後、ベルトを掛けずに24時間放置するとしっかり付きます。

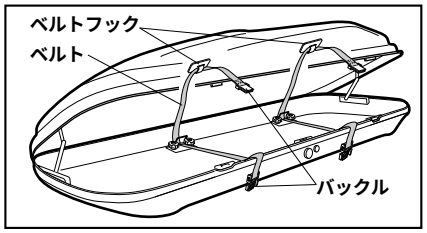
取付5 ルーフボックス取付後の確認



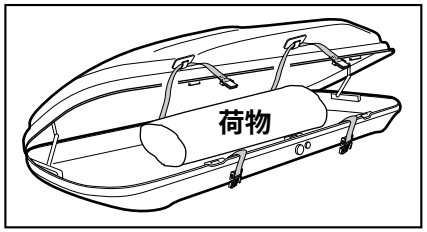
1 ルーフボックスを前後左右にゆすり、ノブのユルミによるガタツキがないか、キャリアに確実に固定されているかを確認する。
ガタツキがある場合は、再度8ヶ所のノブを増し締めする。

使用方法

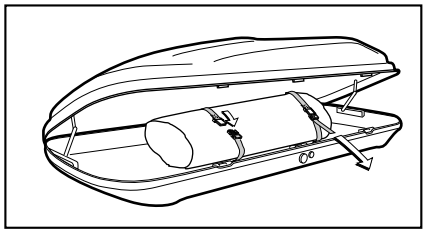
使用 1 荷物を積載する



1 ベルトのバックルを外し、ベルトをベルトフックに掛ける。



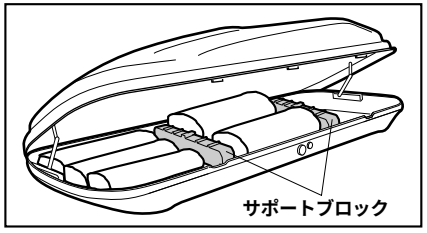
2 荷物を積載する。



3 ベルトフックに掛けたベルトを外し、バックルをはめてベルトを締め付ける。

参考

荷物の固定が充分でないと、走行中に荷物が移動して、カバーが開きにくくなる場合があります。カバーを下に押し下げながらボタンを押してください。

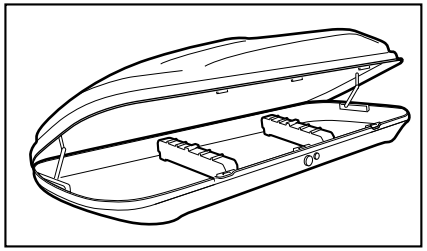


参考

サポートブロックは荷物の仕切りとしても使用できます。（サポートブロックは付属していないモデルもあります。）

使用 2 サポートブロックを使用する

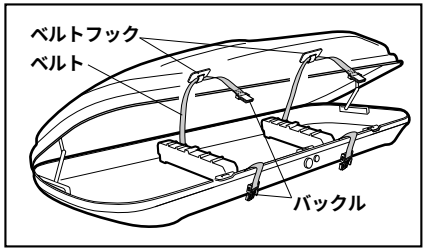
サポートブロックは、輸送中にスキー・スノーボードが傷つきにくいように保持するウレタン製のブロックです。不使用時に比べて積載できる台数は減少しますが、板を大切に運ぶには最適です。たくさんの台数を積載したい場合には外してください。
（サポートブロックは付属していないモデルもあります。
本書 16ページ記載の純正補修パーツをご利用ください。）



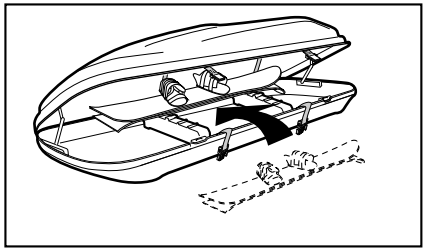
1 サポートブロックを、ルーフボックスの中に置く。

参考

ビンディングが前後のサポートブロックの間に入るように取付金具を避けて、なるべく広めに置いてください。



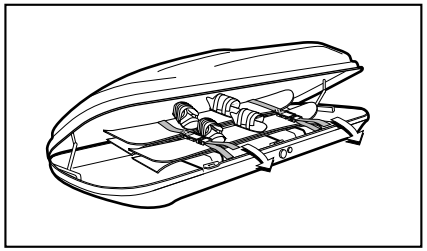
2 ベルトのバックルを外し、ベルトをベルトフックに掛ける。



3 スキー・スノーボードを積載する。

BR740シリーズ
スキー　4台　又は
スノーボード　2台＋スキー 1台　積載可能
BR760シリーズ
スノーボード　4台　積載可能

※積載台数は、板・ビンディングのサイズにより減少する場合があります。



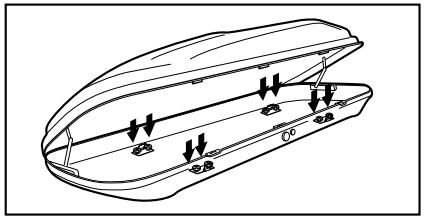
4 ベルトフックに掛けたベルトを外し、バックルをはめてベルトを締め付ける。

使用 3

走行する

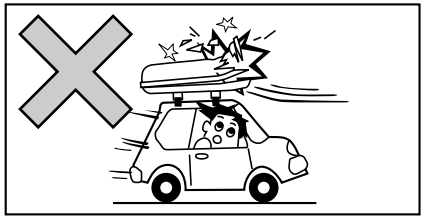
走行する際は、必ず以下の事項を守ってください。

念のため もう一度



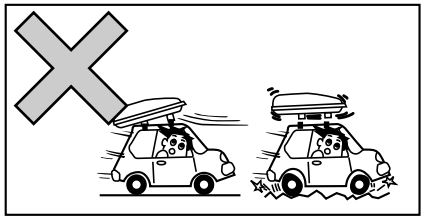
⚠警告

走行前に必ず前後合わせて 8ヶ所のノブを点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。



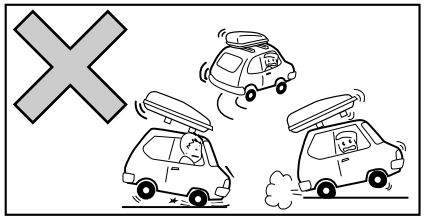
⚠警告

走行前に必ずルーフボックスのキーをロックし、カバーが確実に閉まっていることを確認してください。



⚠警告

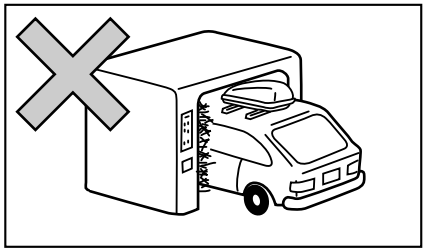
法定速度を守り、強風時や悪路では、特に速度を落として走行してください。



⚠警告

急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は、必ずキャリアとルーフボックスの取付状態を確認してください。

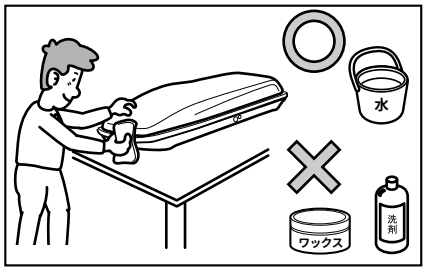
日常のお手入れ



⚠注意

洗車機にかけるときは、ルーフボックスとキャリアを取外してください。誤って、ルーフボックスとキャリアを取付けたままで洗車機にかけた場合は必ずルーフボックスとキャリアの取付状態を確認してください。

ルーフボックスやキャリアを取付けたまま洗車機にかけると、ルーフボックスやキャリア取付部に無理な力がかかり、ルーフボックスや車両が損傷するおそれがあります。



1 水で泥汚れを落とす。

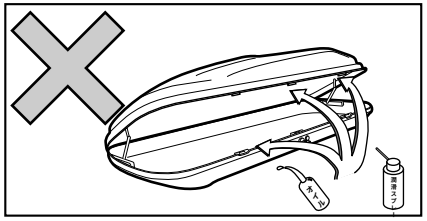
2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

3 日陰でよく乾燥させる。

⚠警告

洗剤・ワックス使用禁止

ルーフボックスを洗う場合は、洗剤・ワックスを使用しないでください。洗剤・ワックスの種類によってはルーフボックスの素材を劣化させるおそれがあります。

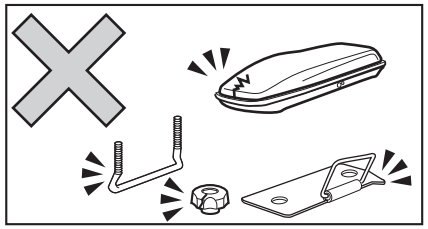


⚠警告

油・シンナー（塗料含む）など使用禁止

潤滑スプレー、油、グリス、シンナー、洗剤の種類によっては、ルーフボックスの素材が劣化し、割れなどが発生することによりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。カギ・ヒンジへの注油はやめてください。

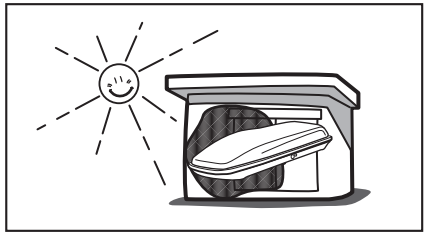
保管方法



1 ルーフボックスを清掃し、各部に異常がないかを点検する。

点検方法

●ルーフボックスに亀裂や破損がないか点検する。もし亀裂や破損があれば使用しないでください。
●Uボルト、ノブが変形、破損していないか点検する。もし変形、破損していれば交換してください。



参考

冷暗所保管（紫外線注意）
ルーフボックスの素材は紫外線により徐々に劣化していきます。長期間使用しない場合は、直射日光、高温、多湿を避けて保管してください。

参考

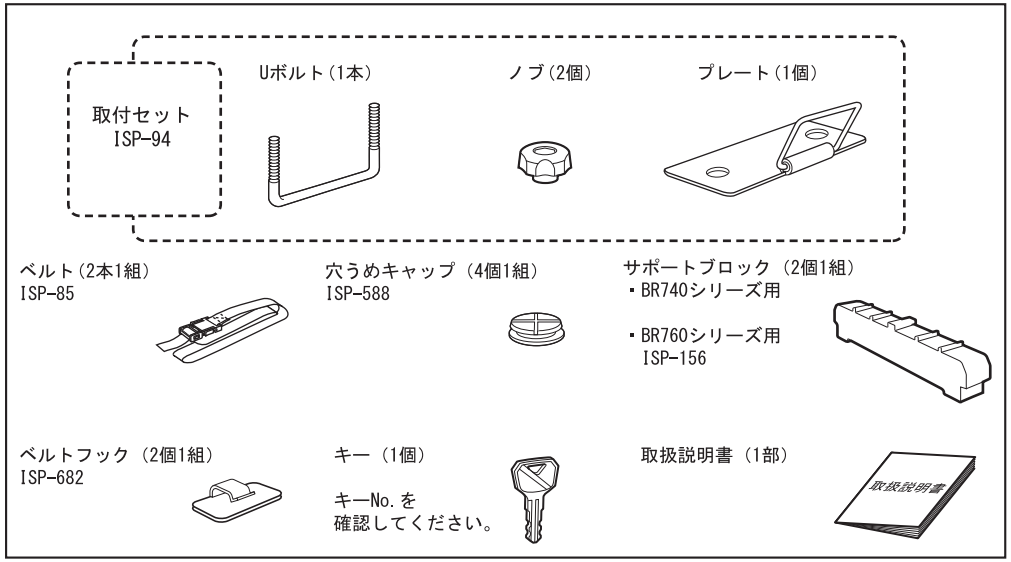
キー、取付金具などの小物部品は、まとめてビニール袋に入れて紛失しないように保管してください。

純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際は、キャリアを購入された販売店にパーツNo.またはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

●本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。



お問合せ先

商品についてのお問い合わせ・補修パーツのご注文は、下記サービスセンターへお問い合わせください。なお、誤った取付けや使用、改造しての使用、台風等の天災による事故の責任は一切負いかねます。

お問い合わせ窓口：カーメイトサービスセンター
ホームページ：http://www.carmate.co.jp/toi/
TEL.03-5926-1212（代表） FAX.03-5926-1218
〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11